

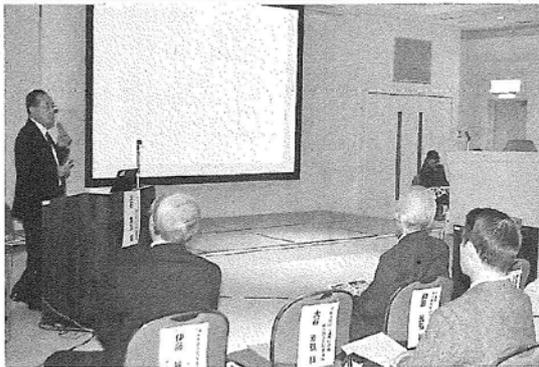
佐久間で天竜川勉強会

ダム堆積土砂有効利用学ぶ

浜松市と国土交通省
浜松河川国道事務所は
16日、「第2回天竜川
勉強会」を同市天竜
区佐久間町の佐久間歴
史と民話の郷会館で開
いた。地域住民ら約80
人が、佐久間ダムに堆
積する土砂の有効利用
について学んだ。
元佐久間町役場で三
遠南信高規格道路・佐
久間ダム堆砂対策課長

を務めた大石幸弘さん
(63)が「佐久間ダム堆
積土砂対策の事業化に
向けた経緯と有効利用
について」と題して講
演。脆弱(ぜいじやく)
な山岳・山地や豪雨に
よる激しい侵食が原因
で、ダム湖の大量の堆
積土砂が天竜川に流入
していることを説明し
た。

土木建築資材や土壌
改良材、コンクリート
骨材などに有効利用で
きることも紹介した上
で、大石さんは「企業
関係者は、ダム湖の堆
積土砂を使って雇用の
場を増やしてもらいた
い」と主張した。勉強
会は佐久間ダム完成60
周年を機に、昨年10月
に第1回を開催。地域
住民からの要望に応
え、第2回を開いた。
(水窪支局・青木功太)



佐久間ダムに堆積する土砂の有効利用について
講演する大石さん(左)＝浜松市天竜区佐久間
町の佐久間歴史と民話の郷会館